

縁のしるしとして、霊名あるいは施主のご芳名を刻み、仏舎利塔内壁面に奉安し、大聖釈尊の聖骨と共に幾久しく供養されるものであります。

この結縁牌懸仏は、夫々のご家族の先祖代々供養の為に、あるいは講中、参拝団の物故者慰霊の為に、お釈迦様と御信徒の皆様との尊いご縁のしるしとして、霊名あるいは施主のご芳名を刻み、仏舎利塔内壁面に奉安し、大聖釈尊の聖骨と共に幾久しく供養されるものであります。

高尾山仏舎利塔 結縁牌懸仏のおすすめ

高尾山にはタイ国・王室より授けられた、大聖釈尊の真身骨を奉安してある仏舎利塔があります。そしてその周りを囲むように建立された百観音お砂踏霊場がございます。

御信徒各位には、釈尊との御勝縁を結ばれますよう、仏舎利塔内に結縁牌懸仏（かけぼとけ）をご納仏されることをお勧め申し上げます。



尚、お申し込みの方には「御納仏回向之証」をお授け致します。（左の写真）



御納仏冥加料
一体 拾万円也

高尾山の昆虫

アオハナムグリ



鬱陶しい梅雨の時期は各種の花が満開になり、晴れ間ともなると様々な虫たちが花に群がります。アオハナムグリは近似種でよく似たナミハナムグリやコアオハナムグリと共に各種の花に普通に見られますが、コアオハナムグリよりも大きく、ナミハナムグリ程は毛深くない等で区別が付き、なかなか綺麗なハナムグリだと思えます。アオと言っても頭部や腹面は赤銅色で背面は鮮やかな緑をした個体が大半ですが、時に背面が赤味を強く帯びることもあります。因みに隠岐諸島産は背面が青藍色、五島列島産はワインレッド色をしていて、それぞれ別亜種とされています。本種は五、八月にかけての高尾に咲く花での優勢種ですが、冬はどうしているのかと思ひ、冬季に朽木を崩してみますとハナムグリの幼虫が沢山見つかりました。一部を持ち帰り観察してましたところ、すべてがアオハナムグリとなって羽化して来ましたので、前記のコアオハナムグリや大型のシロテンハナムグリと共に、高尾を代表するハナムグリであることを改めて感じていきます。

（撮影・文 松島 孝）

修験道にふれる 13

修験課 桑澤 俊宏

《修験道十二道具 並びに十六道具》

松扇

松扇とは御護摩の際、導師により用いられる法具である。導師が護摩壇の壇木（薪）に火を付けた後、松扇にて火を扇ぎ火力を増すのです。これは煩悩に見立てた壇木を仏果の炎によって焼き尽くす意味があるのです。修験道に於いても、祇師が御護摩の際に用いる仏具であります。山伏が山中に入る際の正装でもあります。また腰に扇を差し、願文を唱える時など、両手を使う時に念珠を掛けたりし、大切な法具（念珠等）が汚れないように使用します。



《山伏の秘歌》

「立ち入れば

胸の阿弥陀も

我なれや

釈迦大日は

弥陀の一声

「山伏」と云う文字には意味があります。まず「山」とは、縦の三本の線を、左から報身（弥陀）、中央を法身（大日）、右の線が応身（釈迦）を表します。

立ち入れば 胸の阿弥陀も我なれや
釈迦大日は 弥陀の一声

云わば「山」とは仏（真理）そのものを表し、また捉える側の見かたや、感情に応じて姿形を変えるのです。「伏」は「人」と「犬」からなる字であり、「人」は菩提を、「犬」は煩悩を表します。仏教では煩悩と菩提は反するものであります。修験道では、煩悩即菩提または、凡聖不二といった修験独特の教えがあり、煩悩の中でも菩提を見出す事が出来ると説くのです。つまりは、自身が仏であると感じない事が、煩悩であるとするのです。山に立ち入れば山そのものが仏であり、尚且つ自身も仏性（仏に成りうる可能性）を兼ね備えていると説きます。しかしこの理を知っているだけでは意味がなく、自身の身体を使って得た結果（修行）こそが仏の教えであり、その教えに気づくことにより、自身も仏であると感じるので

富士登拝代参守のご案内
この代参守は、高尾山から続く祈りの道を、修験者によって運ばれ、霊峰富士山頂にて法楽し、本年一年の、諸縁吉祥・諸願円満の為に、ご祈念致します。（授与料）一体壹千円以上（代参守と碑伝合わせて）
《申し込み方法》
山上・御護摩受付所又は、葉書に郵便番号・住所・氏名（必ずフリガナを明記下さい。）電話番号を明記の上、左記までお申し込み下さい。
※締め切は、七月末日とし、八月以降の申し込みは、来年度分とさせていただきます
〒一九三二八六八六
八王子市高尾町二二七七
大本山高尾山薬王院内
富士事務局

當山では毎年三月第二日曜日に、高尾山修験道による火渡り祭が、高尾山麓において盛大に執り行われます。
この勝行にあたり、ご信徒の皆様方より柴燈大護摩供にて使用される、御本尊・飯繩大権現様の功德を顕す御壇木のご志納を一本一万円にて募っております。
尚、ご志納の証として御芳名を薬王院境内に一年間掲示させて頂きます。ご志納方法についての詳細は、高尾山薬王院信徒課までお問い合わせ下さい。
TEL 〇四二一六八一二二五



柴燈大護摩供御壇木
特別志納のご案内